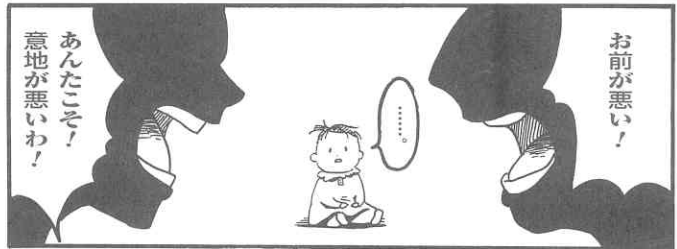


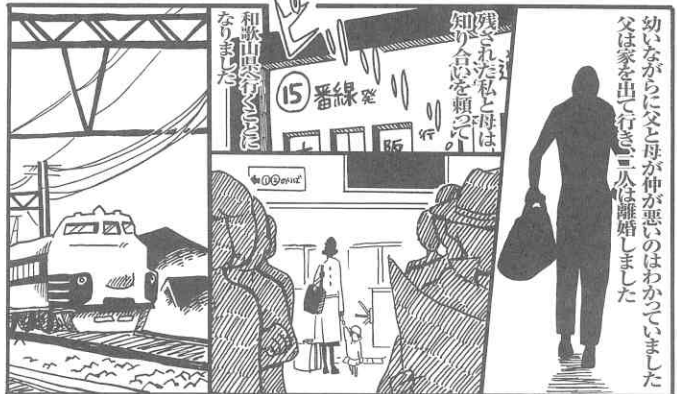
いま「指悩皆喜」 真っ最中②



手術は成功し私は無事に退院することができました。リハビリ通院の間私をおぶって連れて行ってくれた母のメラスはボロボロになりました。



お前が悪い！
あんたこそ！
意地が悪いわ！



幼いながら父と母が仲が悪いのはわかっていました。父は家を出て行き、父は離婚しました。

マーちゃんが幼いころの記憶といえば、毎日のようにあった夫婦ゲンカだった。小学校にあがるころには夫婦が離婚し、お母さんと一緒に和歌山県に移り住むことになった。時代は蒸気機関車が全盛だが、東海道本線は電化され、電車特急こだまが登場した。



日常にありがちな事例を寸劇で表現

あなたの助けや ひと言が助けに

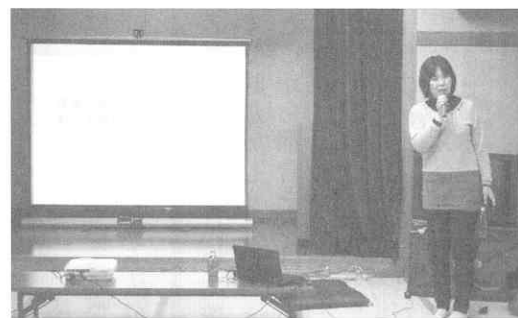
青年部・女性部合同学習会(1)

2月21・22日、新宮市下田隣保館で「自分も相手も大切に」と題してワイメンズネット和歌山とワイメンズネット紀南支部によるデートDV・DVの講演会があり、女性対策部と青年部、新宮支部より約50人が参加した。



デートDV防止プログラムにそって学習をすすめる

自分も相手も大切に
デートDV防止授業



性暴力センターわかやま mine について説明

山本昌代・県連女性対策部長が司会進行を務め、和歌山県男女共同参画センターりいぶるの大西朗博・

企画課課長と松井資喜・県連青年部長があいさつをした。はじめに、DVの認識を

確かめるため、DVだと思ふ項目に○をつけた。12年の内閣府の調査では親密な関係相手から身体的暴力を受けたことがある女性は日本人女性の25・9%（4人に1人）いることが報告された。つづいて、日常にありがちなデートの日程、携帯電話について、彼氏の相談について3パターンの寸劇を青年部・女性対策部・新宮支部の男女が演じた。デートレイプは、20人に1人がされたことがあり、8人に1人がされそうになったことがある。いま、流行

している「壁ドン」についても一歩進めば威圧的な行動でもあることが述べられた。

最後に、DVやデートDVは相手を暴力でコントロールすること。愛には暴力は必要ない。人は傷ついても回復できるパワーをもっている。あなたの知識や一言が助けることになる」と語られた。

つづいて、性暴力センターわかやま mine について、和歌山県男女共同参画センターりいぶる奥田美和子・主査から説明があった。性暴力について事例の説明と体を守るため72時間以内の飲めば妊娠する確率が減る薬があることや2次被害をうまないために被害を受けた人への支援について語られ、子どもたちは真剣な表情で聞き入っていた。

翌日、女性対策部と青年部が新宮支部の部落の歴史を学んだ。講師の稗田明・新宮支部書記長から、新宮市には、7つの隣保館と3つの児童館が建設され、同和教育と地域福祉、人権啓発の発信地として大きな役割を果たしている。新宮に産業はなく、女性たちは県外に働きにいられたため、新宮の盆踊りは江州音頭が踊られる。また、差別事件について、今の子どもたちは露骨に差別する。差別事件は過去のことではないと差別の根深さについて語った。(フィールドワークは、次に掲載します。)

連載(2)

「同和对策審議会答申」

第1部「同和問題の認識」では、部落の実態と社会における認識について、各分野ごとに記されている。日本社会において、どのように形成され、差別されてきたのか。産業・経済、文化体制が部落問題を存続させて、部落差別を支えてきた歴史的社会的根拠であると説かれている。

第1部 同和問題の認識

1. 同和問題の本質

いわゆる同和問題とは、日本社会の歴史的發展の過程において形成された身分階層構造に基づく差別により、日本国民の一部の集団が経済的・社会的・文化的に低位の状態におかれ、現代社会においても、なおいちじるしく基本的人権を侵害され、とくに近代社会の原理として何人にも保障されている市民的権利と自由を完全に保障されていないという、もっとも深刻にして重大な社会問題である。その特徴は、多数の国民が社会的現実として差別があるために一定地域に共同的集落を形成していることにある。最近この集団的居住地域から離脱して一般地区に混在するものも多くなってきたが、それらの人々もまたその伝統的

集落の出身なるがゆえに陰に陽に身分的差別のあつかいをうけている。集落をつくっている住民は、かつて「特殊部落」「後進部落」「細民部落」など蔑称でよばれ、現在でも「未解放部落」または「部落」などよばれ、明らかな差別の対象となっているのである。

この「未解放部落」または「同和関係地区」(以下単に「同和地区」という)の起源や沿革については、人種起源説、宗教起源説、職業的起源説、政治的起源説などの諸説がある。

しかし、本審議会は、これら同和地区の起源を学問的に究明することを任務とするものではない。ただ、世人の偏見を打破するために、はっきり断言しておかなければならないのは同和地区の住民は異人種でも異民族でもなく、疑いもなく日本民族、日本国民である、ということである。

すなわち、同和問題、日本民族、日本国民のなかの身分的差別をうける少数集団の問題である。同和地区は、中世末期ないし近世初頭において、封建社会の政治的、経済的、社会的諸条件に規制せられ、一定地域に定着して居住することにより形成された集落である。

(次号につづく)